

# 彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, June, 2008

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

6月の状況 (佐藤)

☆ C/2007 W1 (Boattini)

6月3日、高知市の村岡健治氏から OAA 彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML という。) に「近日点通過の前ですが、C/2007 W1 に非重力的な運動が出てきました? J47 の観測がほとんどなので、今一 (まだ怪しい) なので、皆さんの観測を待っています! とは、言っても、赤経 8h 赤緯 -25 度といえば観測できないのかな。」との報告があり、5日、筆者から oaa-comet ML に「どうやら非重力運動が出てきたように見えますね。アルゼンチンの Fernando Pablo Tifner (XXI Observatorio Astronomico Beta Orionis) の観測を加えた 5月 10 日以降の残差は次のとおりです。J47 の 5月 26 日~30 日の残差は?? です。」と伝え、非重力運動を確認した。

10 日には、村岡健治氏から oaa-comet ML に「…やはり非重力運動が出てきたようです!。今まで、摂動だけの軌道からでは、原初がマイナスでも、非重力運動が出はじめるとプラスに変わる……と思ってきました……しかし、この彗星は違いました。……私は誤差等考慮すると、原初がマイナスは無いと思っていましたけど……。今後の観測が楽しみです。」との報告があった。

ニュージーランドの John Drummond が 5月と 6月に撮ったこの彗星の画像を見て、どうもコマが逆三角形になっているのが気になっていたが、非重力運動の影響なのだろうか。

☆ C/2007 N3 (Lulin) と C/2008 J1 (Boattini) が増光 (写真 a, b)

スペインの Juan José González Suárez は、6月 28 日、20cm Schmidt-Cassegrain 反射×77 で C/2007 N3: 2008 June 28.00 UT:  $m_1=10.6$ , Dia. =3.5', DC=4; C/2008 J1: 2008 June 27.98 UT:  $m_1=10.3$ , Dia. =4.5', DC=3 といずれも 10 等台に増光しているのを観測した。

7月 1 日、芸西天文台の関課長は、oaa-comet ML で「C/2007 N3 は今朝観測しました。明るい球状星団の側にあつて 10.5 等くらいです。写真では短いコマの流れ。

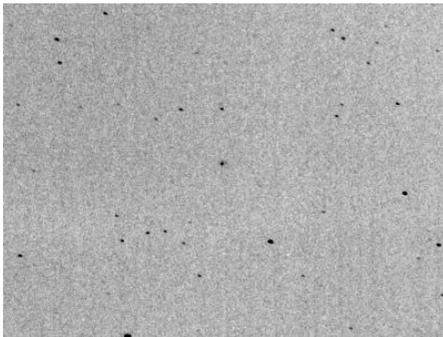
C/2008 J1 はすこし暗くなったのでしょうか？15cm F8 屈折 55×では 11.0 等の眼視光度です。」との報告があった。他に国内では山口県の吉本勝己氏が観測している。

一時的な増光か。特に C/2007 N3 (Lulin)は近日点通過日が 2009 年 1 月とだいぶ先で肉眼彗星の可能性もある。今後の観測が注目される。

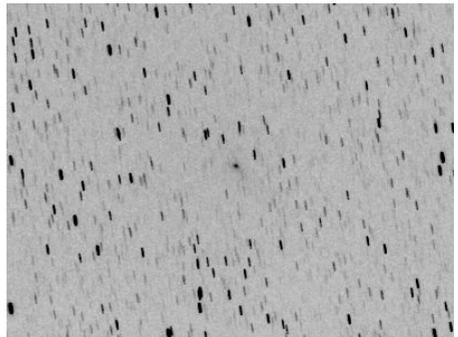
その他 6 月中に検出・発見された彗星は次のとおり。

- ☆ P/1997 V1 = P/2008 L1 (Larsen) J. V. Scotti は、6 月 9.44 日 UT、Kitt Peak の Spacewatch 1.8-m f/2.7 反射によって、P/1997 V1 (Larsen)を検出した。MPC 54170 の予報の修正は、 $\Delta T = -2.0$  days であった。(IAUC 8952, 2008 June 13.)
- ☆ C/2008 L2 (Hill) 6 月 12.44 日 UT、R. E. Hill は、Catalina スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た画像から 5"-7"のコマと p. a. 270°に拡散した尾のある彗星を発見した。NEO Confirmation Page に掲載後、J. M. Aymami (Tiana, スペイン, 0.25-m 反射)ら幾人かの CCD 位置観測者によって観測された。(IAUC 8953, 2008 June 14)
- ☆ C/2008 L3 (Hill) 6 月 13.28 日 UT、R. E. Hill は、他に Catalina スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た画像から 10"-12"の拡散したコマと p. a. 100°に 1'-2'の拡散した扇型の尾のある彗星を発見した。NEO Confirmation Page に掲載後、J. E. McGaha (Tucson, アリゾナ州, 0.36-m 反射)ら幾人かの CCD 位置観測者によって観測された。(IAUC 8954, 2008 June 15)

その他比較的明るい彗星は、6P/d' Arrest、15P/Finlay、C/2006 Q1 (McNaught)、C/2006 OF<sub>2</sub> (Broughton)、C/2007 G1 (LINEAR)、C/2005 L3 (McNaught)などであった。



(写真 a) C/2007 N3 (Lulin) 2008, 06, 14  
0h 42.0m-52.0m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2008 J1 (Boattini) 2008, 06, 14  
0h 20.0m-30.0m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏